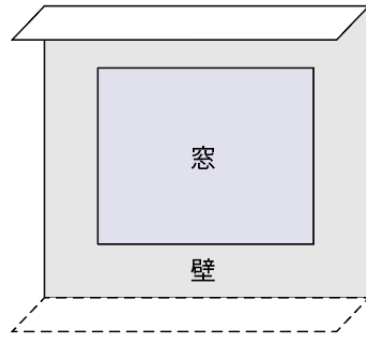


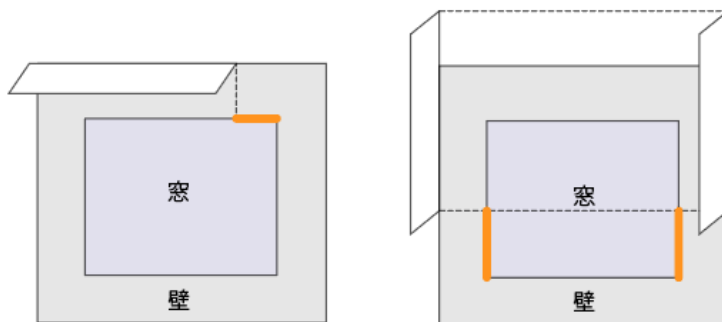
## 評価対象外となる日よけについて

本プログラムは、次の場合は評価することができません。

- ・山などの地形の起伏や敷地の高低差
- ・隣接する建築物・外構(塀、樹木等)
- ・開口部の面を覆うように設置されるブラインド、カーテン等の付属部材
- ・非常設の部材、建築物に取り付けられない部材
- ・可変する部材(オーニング等)
- ・日射を透過する材料、構造で構成される日よけ(ガラスやパンチングメタルによるひさし等)
- ・開口部の屋外側に張り出した躯体等の一般部位の厚み
- ・開口部より下方に位置する部位(日よけ、同一階及び下階のベランダ、セットバック形状の下階屋根面等)



- ・開口部の上辺の全てを覆っていない上方の日よけ(オーバーハング)及び側方の辺の全てを覆っていない側方の日よけ(サイドフィン)



- ・日よけの先端に位置する樋や装飾用の部材(唐破風における彫刻を施した装飾)等の日よけの付属部材

<note>

- ・屋根又は屋根の直下の天井に設置されている開口部(傾斜面に設置された天窗等)は、日よけ効果係数を 1.0 とします。
- ・上方の日よけ(オーバーハング)がない場合は、日よけ効果係数を 1.0 とすることができます。

くわしくは[こちら](#)(第三章 第四節 付録 B)を参照します。

<リンク先>

<https://www.kenken.go.jp/becc/house.html>

## サイドフィンの評価

<Step>

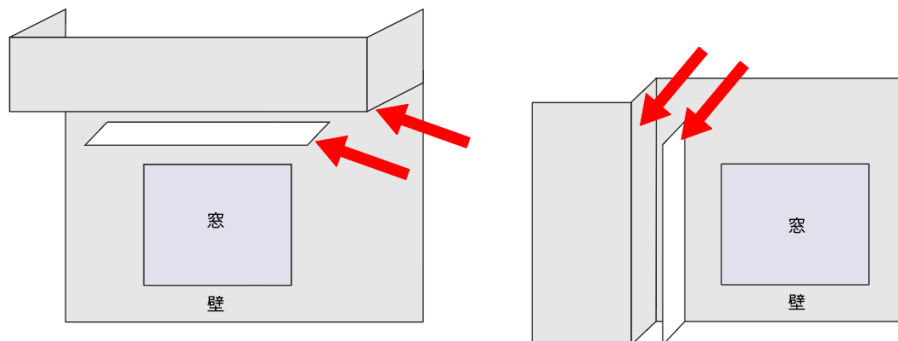
外壁に設置されている開口部の側方の日よけ(サイドフィン)について、「サイドフィン进行评估しない」、「サイドフィン进行评估する」のいずれかを選択します。

なお、上方の日よけ(オーバーハング)の評価は必須とし、開口部等の下側に設置された日よけは評価しません。

<Point1>

開口部の上方、側方に複数の日よけが設置されている場合

開口部の上方、側方に複数の日よけが設置されている場合は、いずれか1つを評価します。



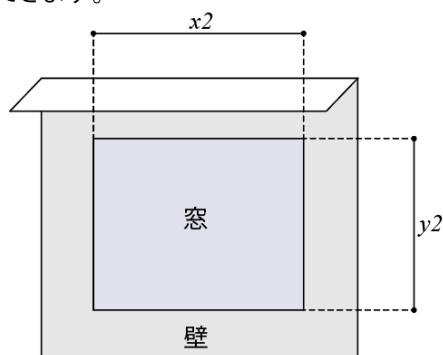
## 外壁の各部分の長さ

<Step>

各部分の寸法を入力します。

<Point1>

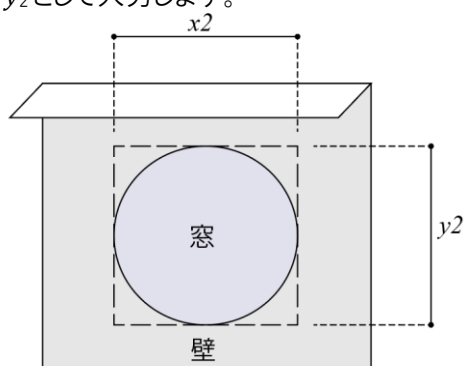
開口部の寸法( $x_2$ 、 $y_2$ )は、原則躯体部の開口寸法となりますが、建具の出来寸法(外のリ基準寸法)、JIS A 4706 に基づく呼称寸法、または JIS A 4710 もしくは JIS A 2102-1 によることができます。



<Point2>

開口部等の形状が長方形でない場合

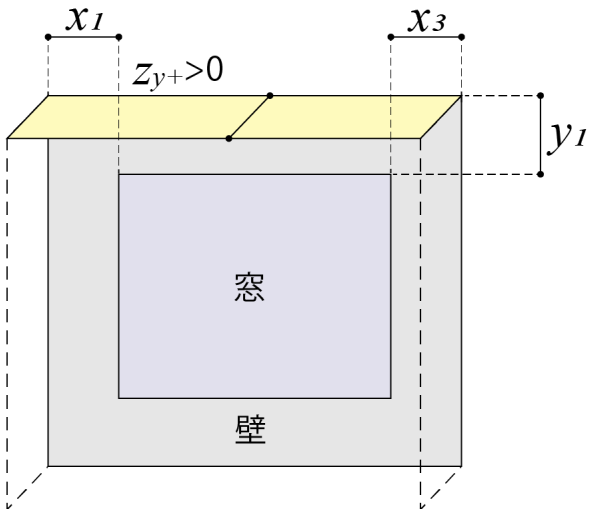
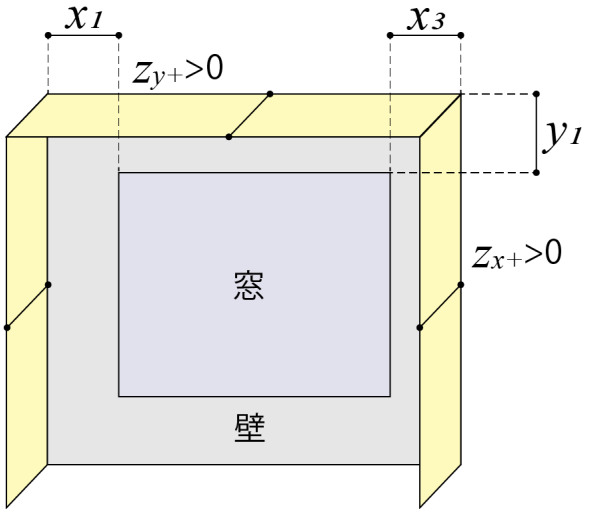
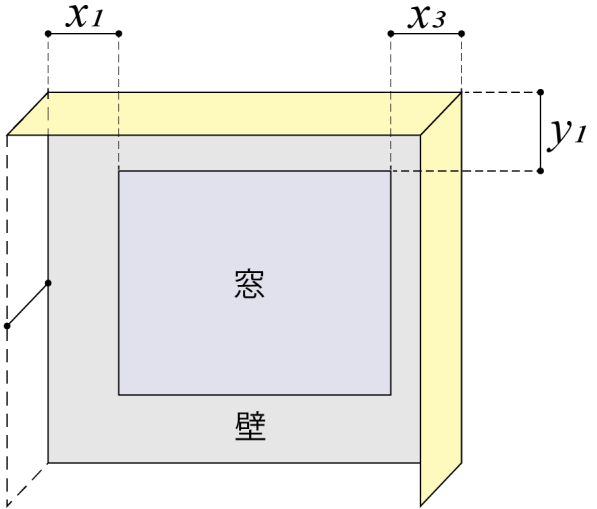
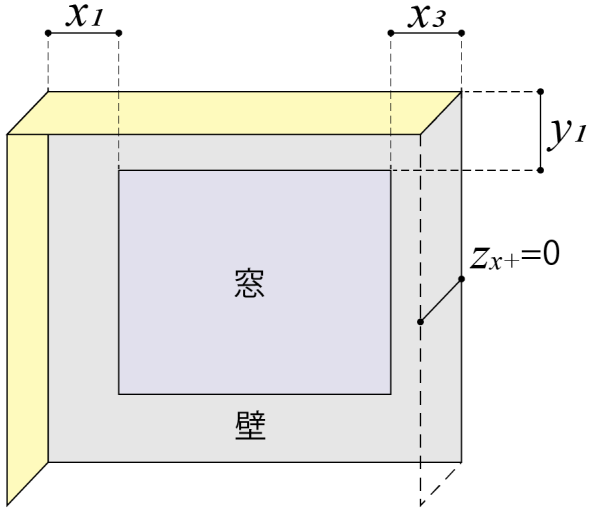
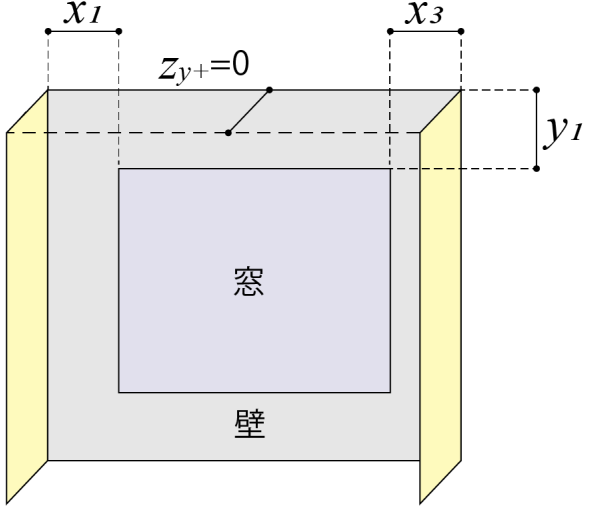
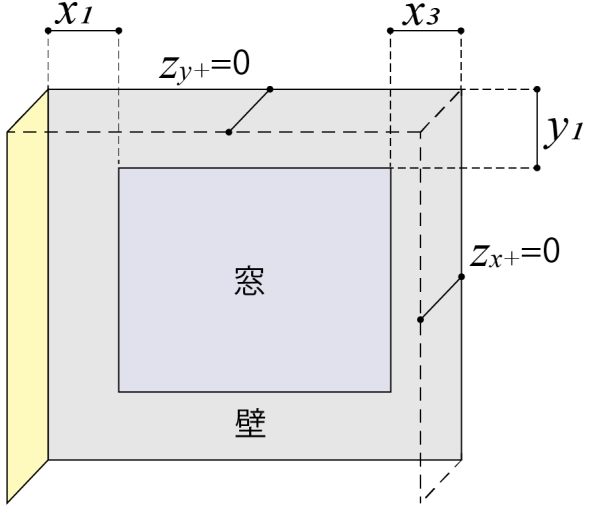
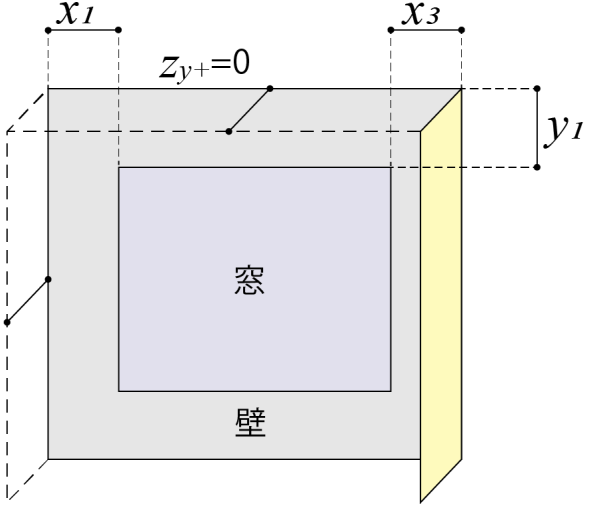
開口部等を包含する長方形の幅を $x_2$ 、高さを $y_2$ として入力します。



<Point3>

選択肢に応じた日よけのパターンと入力方法及び特記事項は下表を参照します。

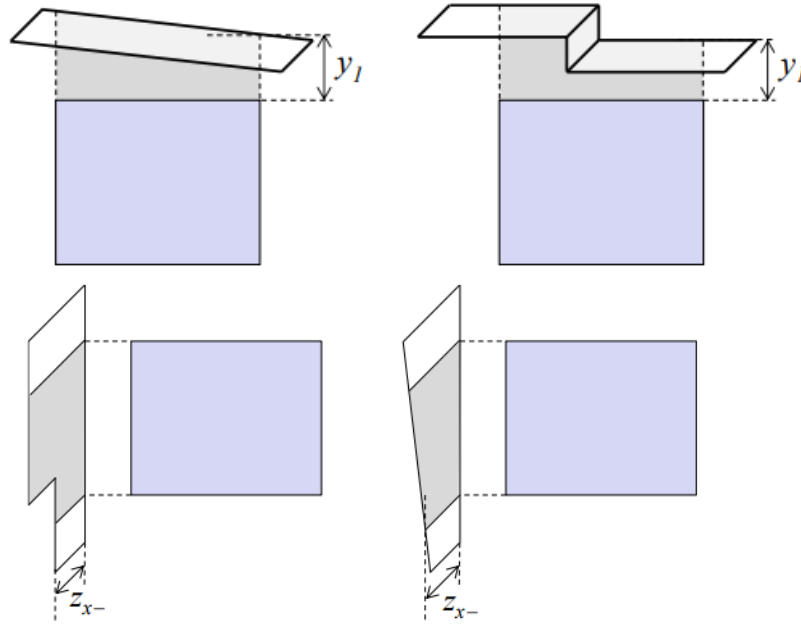
なお、規定値を選択した場合は 4mとして計算されます。

選択肢	図	入力方法及びその他特記事項	
サイドフィンの評価しない	$z_{y+}>0$ の場合 	$x_1$          $x_3$	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該寸法を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する</li> </ul>
サイドフィン进行评估する	$z_{y+}>0, z_{x-}>0, z_{x+}>0$ の場合 	$x_1$          $x_3$          $y_1$	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該寸法を入力する</li> </ul>
	$z_{x-}=0$ の場合 	$x_1$          $x_3$          $y_1$	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該寸法を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する</li> </ul>
	$z_{x+}=0$ の場合 	$x_1$          $x_3$          $y_1$	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該寸法を入力する</li> <li>当該寸法を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する</li> </ul>
	$z_{y+}=0$ の場合 	$x_1$          $x_3$          $y_1$	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該寸法を入力する</li> <li>当該寸法を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する (yが4m以上の場合に限る)</li> <li>本プログラムで計算せずに、日よけ効果係数を1.0とすることができる</li> </ul>
	$z_{y+}=0$ かつ $z_{x+}=0$ の場合 	$x_1$          $x_3$          $y_1$	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該寸法を入力する</li> <li>0を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する</li> <li>当該寸法を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する (yが4m以上の場合に限る)</li> <li>本プログラムで計算せずに、日よけ効果係数を1.0とすることができる</li> </ul>
	$z_{y+}=0$ かつ $z_{x-}=0$ の場合 	$x_1$          $x_3$          $y_1$	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該寸法を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する</li> <li>当該寸法を入力する</li> <li>0を入力する または</li> <li>「入力しない（規定値を用いる）」を選択する (yが4m以上の場合に限る)</li> <li>本プログラムで計算せずに、日よけ効果係数を1.0とすることができる</li> </ul>

<Point4>

開口部等から日よけまでの寸法が一定の値とならない場合

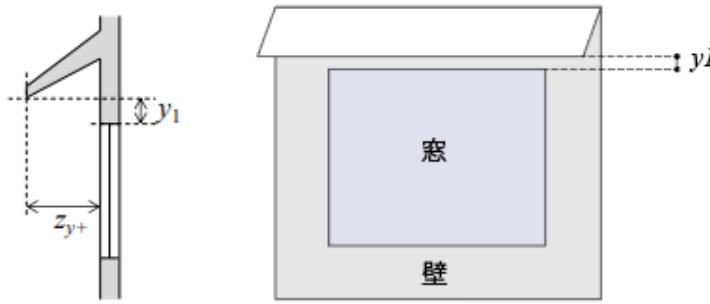
開口部等から日よけまでの寸法が一定の値とならない場合は、最も短い距離及び寸法を入力します。



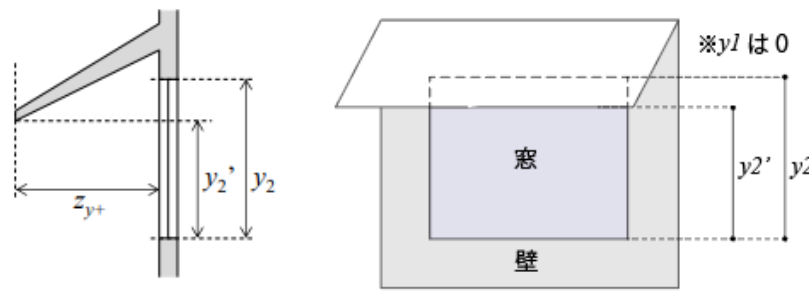
<Point5>


上方の日よけ(オーバーハング)が傾斜している場合

・上方の日よけ(オーバーハング)が傾斜し、日よけの先端が開口部等の見付けにかからない場合、日よけの先端位置から開口部等面に垂線を下した位置までの距離を、開口部等の上方の日よけ(オーバーハング)の壁面からの張り出し寸法zy+とします。



・上方の日よけ(オーバーハング)が傾斜し、日よけの先端が開口部等の見付けにかかる場合は、見付けにかからない部分の日よけ効果係数に、開口部等の全体の面積と、見付けにかかる部分の面積の比を乗じて次式より計算します。



開口部等の日よけ効果係数 =  日よけが見付けにかからない部分の日よけ効果係数・  $\frac{y_2'}{y_2}$

くわしくはこちら(第三章 第四節 付録 D)を参照します。

<リンク先>

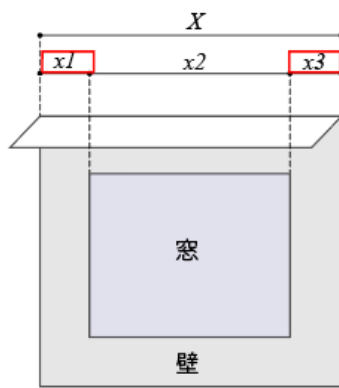
<https://www.kenken.go.jp/becc/house.html>

<Point6>

上方の日よけ(オーバーハング)が開口部等の幅に対して左右対称に設置されるとみなせる場合

x1、x3には次式の値を入力することができます。

$$x_1 = x_3 = \frac{(X - x_2)}{2}$$



<Point7>

上方の日よけ(オーバーハング)と側方の日よけ(サイドフィン)が一体化していない場合

上方の日よけ(オーバーハング)と側方の日よけ(サイドフィン)が一体化していない場合でも、開口部等の端部を覆う位置に日よけがある場合は、評価の対象とすることができます。

評価をする場合、x1、x3、y1には、それぞれの距離を入力します。

